

校友会 史跡クラブ 行程表

日程	7月17日(火)	《雨天決行》
活動場所	鎌倉～長谷～江の島	
集合時間	8時00分(時間厳守)	集合場所 東武東上線池袋駅南口改札前
費用概算	交通費：¥2,406(IC) 拝観料・入園料等：¥1,020	
行程概要	(午前) ・JR池袋 8:13 ～ 北鎌倉 9:16 (JR新宿湘南ライン逗子行き) ・北鎌倉 ～ 長谷高德院(鎌倉大仏) (徒歩ハイキング：葛原岡神社・源氏山公園 ・銭洗い弁財天・佐助稻荷経由) (昼食) 長谷寺門前の蕎麦店予約済み (午後) 長谷寺拝観 ・長谷 13:29 ～ 江ノ島 13:48 (江ノ島電鉄江の島行き) 江の島散策(江ノ島シーキャンドル?) ・湘南江の島 15:49 ～ 大船16:03 (湘南モノレール大船行き) ・JR大船 16:15 ～ JR池袋17:14 (JR新宿湘南ライン快速宇都宮行き)	

池袋にて解散

●高德院(鎌倉大仏)

鎌倉のシンボルともいえる長谷の大仏を本尊とする浄土宗の寺院で、正式には大異山高徳院清浄寺とありますが、寺の創建や開基等は不明でよく分かっていない。当初は真言宗であったが、後に臨済宗の建長寺の末寺となり、江戸時代の正徳年間(1711～16)に芝増上寺の祐天上人により再興され(大仏も鋳掛修理)浄土宗に転じ、高德院と称した。大仏(国宝 銅造阿弥陀如来坐像というが、実際は青銅製)の建立が開始されたのは、鎌倉時代の建長4年(1252)で、高さ11.3m、重さ121t、完成当初は金箔で覆われていたという。大仏殿は高さ40mの巨大な建物であったというが、建武元年(1334)及び応安2年(1369)の大風で倒壊し、以来大仏は露座となっている。明応4年(1495)の大地震による津波で流されたとか、明応7年の地震という説もある。

「鎌倉や み仏なれど 釈迦牟尼は 美男におわす 夏木立かな」 与謝野晶子

●鎌倉 長谷寺(海光山慈照院長谷寺 浄土宗系単立寺院)

寺伝によると、養老5年(721)に徳道上人(奈良大和長谷寺の開基)は、楠の大木から2体の巨大な十一面観音像を造り、1体を大和の長谷寺の本尊とし、もう1体を祈請のうへ海に流した。それが15年後の天平8年(736)相模の三浦半島に流れ着き、藤原房前(不比等の次男で藤原北家の祖)が徳道上人を招請し、この観音像を本尊として開いたのが鎌倉の長谷寺である。現在の本尊(十一面観音像)は後世の修復が多く、造立年代は定かではないが、室町時代の作と推定されている。中世以前の沿革はよく分かっていないが、鎌倉時代の遺物は残されている。

文永元年(1264)銘の梵鐘、弘長2年(1262)と徳治3年(1308)銘の板碑、嘉暦元年(1326)及び元徳2年・3年(1330・31)銘の懸け仏 等々

※ 持ち物等歩き易い靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パسم

連絡先 丸田純一